

《基礎科目》

科目名	英語				
担当者氏名	西村 紀子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。				

《授業の概要》

基礎文法の復習を行い、英文法の知識を確立する。
CDを使ったフレーズ練習により、英語の音や日常会話での表現を学び、抵抗なく発話する力を身につける。
毎回語彙テストを行い、語彙を増やすことを心掛ける。

《教科書》

プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

期末試験のフィードバックは希望に応じて行います。

《授業の到達目標》

英語 で学んだ基礎文法を応用して活用できるようにする。
基礎文法をさらに学び、日常の身の回りの事柄について、自分の言葉で発話できるようにする。

《成績評価基準》

基礎文法の応用力が身についているか。
身の回りの事柄について、自分の言葉で発信し説明できるか。
応用に必要な基本的語彙が身についているか。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート - %
課題 - % 実技 - %
授業の取組 35%
その他(提出物) 35%

《参考図書》

「英会話の基本文型 87」

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	講座概要と英語基本文型について	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
2	to不定詞(名詞、形容詞、副詞的用法)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
3	比較(原級、比較級、最上級)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
4	受動態	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
5	受動態演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
6	現在完了形(完了、経験、継続)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
7	現在完了形(完了、経験、継続)演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
8	現在分詞	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
9	過去分詞	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
10	現在分詞・過去分詞演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
11	関係代名詞(主格)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
12	関係代名詞(目的格)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
13	関係代名詞演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
14	後期学習内容の総復習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
15	後期学習内容の理解確認	復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)

《基礎科目》

科目名	スポーツ理論と実践				
担当者氏名	坂元 瑞貴				
授業方法	実技	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。				

《授業の概要》

本授業では「健康スポーツ」「球技スポーツ」「ラケットスポーツ」「パラスポーツ」「ニュースポーツ」等を行い、様々なスポーツについて知り、生涯を通してスポーツを楽しむための知識・技能を養う。

《教科書》

必要に応じて、資料を配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

ルールについての試験を随時行い、その都度解説を行う。

《授業の到達目標》

1. 日常生活における運動・スポーツの重要性を理解し、生涯を通してスポーツを楽しむことができる。
2. 実施するスポーツのルールを理解し、実践できる。
3. パラスポーツを体験し、知ることができる。
4. スポーツを通し、チームメイトや対戦相手とのコミュニケーションを取ることができる。

《成績評価基準》

実施するスポーツのルールを理解し、チームメイトや対戦相手とのコミュニケーションを取りながら、実践することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 30%
実技 20%
授業の取組 50%

《参考図書》

観るまえに読む大修館スポーツルール2020(大修館書店編集部)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション アイスブレイク	怪我の予防のため、身体を動かしておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
2	健康スポーツ	「運動」「栄養」「休養」のバランスを整え、健康を保つ(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
3	健康スポーツ	「運動」「栄養」「休養」のバランスを整え、健康を保つ(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
4	球技スポーツ	「バレーボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
5	球技スポーツ	「バレーボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
6	球技スポーツ	「バスケットボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
7	球技スポーツ	「バスケットボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
8	ラケットスポーツ	「バドミントン」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
9	ラケットスポーツ	「バドミントン」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
10	ラケットスポーツ	「卓球」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
11	ラケットスポーツ	「卓球」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
12	パラスポーツ	パラスポーツについて調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
13	パラスポーツ	「車いすバスケットボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
14	ニュースポーツ	ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
15	ニュースポーツ	ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)

《基礎科目》

科目名	キャリア演習				
担当者氏名	大谷 美咲、矢野 沙織、岸田 優、久保 宏和				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

この授業では、学校行事やグループワークを通じて、社会人基礎力を身につける。また、外部講師による講義や進路に関する説明を聞き、自分の進路を決定する。

《教科書》

西短学生支援部『就職活動ハンドブック』（2022）
授業内で配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

不定期に課題を課し、課題によっては教員のコメントを付して返却する。返却された課題は、適宜復習可能なように「学修ポートフォリオ」に保存すること。

《授業の到達目標》

自分の強み・弱みを把握し、自分自身への理解を深めることができる。グループワークを通じて、他者と適切なコミュニケーションをとりながら、自己の役割をはたすことができる。様々な演習や講演等を通じて、現代社会の仕組みを理解することができる。自己と社会への理解を深めながら、将来どのように生きていきたいか(キャリアデザイン)について考えることができる。

《成績評価基準》

到達目標 ~ の達成度を課題によって測定する(80%)。また、グループワークへの主体的な参加姿勢を評価に加える(20%)。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 80% 実技 %
授業の取組 20%
その他 () %

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：講義概要を読む(30分)。 復習：時間割の確認(30分)。
2	インターンシップ報告会	予習：自分の進路について考えておく(30分)。 復習：進路情報を収集する(30分)。
3	適性検査・福浜祭準備	予習：福浜祭の案を考えておく(30分)。 復習：福浜祭の準備(30分)。
4	福浜祭準備	予習：福浜祭の準備(30分)。 復習：福浜祭の準備(30分)。
5	福浜祭振り返り・1年生グループワーク	予習：福浜祭の反省(30分)。 復習：自分の担当作業を進める(30分)。
6	適性検査解説・1年生グループワーク	予習：自分の担当作業を進める(30分)。 復習：自分の担当作業を進める(30分)。
7	身だしなみ講座	予習：就職活動において重要なことを調べておく(30分)。 復習：講座内容の復習(30分)。
8	スポーツゴミ拾い	予習：スポーツゴミ拾いの準備(30分)。 復習：スポーツゴミ拾いの反省(30分)。
9	メイク講座	予習：就職活動において重要なことを調べておく(30分)。 復習：講座内容の復習(30分)。
10	草の根租税講座(福岡中部法人会)	予習：日本の税制について調べておく(30分)。 復習：講座内容の復習(30分)。
11	1年生グループワーク	予習：自分の担当作業を進める(30分)。 復習：自分の担当作業を進める(30分)。
12	1年生グループワーク	予習：自分の担当作業を進める(30分)。 復習：報告会の準備(30分)。
13	1年生グループワーク(報告会)	予習：報告会の準備(30分)。 復習：グループワークの反省(30分)。
14	会社説明会	予習：就職活動において重要なことを調べておく(30分)。 復習：説明会の内容の見直し(30分)。
15	春期休暇前指導・1年生向けゼミ紹介	予習：春期休暇の計画を立てる(30分)。 復習：キャリア演習 授業全体を振り返る(30分)。

《基礎科目》

科目名	ワークショップ演習				
担当者氏名	大谷 美咲、森江 由美子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。 1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

この科目は、就職、起業、公務員志望者対象のワークショップです。2つのグループに分け、就職・起業グループは、組織の作り方、運営の仕方から利益を得るためにはどうしたらよいか等、公務員グループは社会貢献マインドを身につけ地域のためになることはないか等について実践を通して学んでいく。

《教科書》

指定しない。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

業務日誌・レポートの作成と提出とそれに対するコメント

《授業の到達目標》

就職・起業グループ

会社組織の仕組みについて理解する。事業を軌道に乗せるためには何が必要かを学ぶ。社会人としてのマナー等を身につける

公務員グループ

社会貢献活動について、その活動の目的について理解する。社会貢献マインドを養う。公務員等社会貢献性の高い職業への意欲を高める。

《成績評価基準》

授業の到達目標について、毎回の活動の取組みと報告書、レポート課題等で総合的に評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 20% レポート 20%

課題 40% 実技 40%

授業の取組 40%

その他 () %

《参考図書》

必要に応じて授業中に指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	前期の授業の復習・見直しをしておくこと(2時間)
2	試作	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回報告できるようにしておくこと。(2時間)
3	試作 店舗準備	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回報告できるようにしておくこと。(2時間)
4	店舗準備	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回報告できるようにしておくこと。(2時間)
5	福浜祭出店準備	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回実施できるようにしておくこと。(2時間)
6	福浜祭出店	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回実施できるようにしておくこと。(2時間)
7	福浜祭出店	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回実施できるようにしておくこと。(2時間)
8	福浜祭出店	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回実施できるようにしておくこと。(2時間)
9	株主総会準備 企画広報会議開催	必要資料の作成(2時間)
10	株主総会 決算報告 企画広報会議 報告	必要資料の作成(2時間)
11	この活動を就活に役立てよう	福浜祭出店についての振り返りを行っておくこと。(2時間)
12	同上	必要なレポート・報告書の作成(2時間)
13	同上	必要なレポート・報告書の作成(2時間)
14	同上	必要なレポート・報告書の作成(2時間)
15	活動の総括	全体を通して学んだことについて考えておくこと。(2時間)

《基礎科目》

科目名	キャリアサポート（民間企業）				
担当者氏名	池田 桂子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

自分を知ることから始めて、どのようなキャリアプランをデザインしていくかを考え、自分が望む就職ができるように、必要なスキルを実践的に学んでいく。

《教科書》

西短進路指導部『就職活動ハンドブック』

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実技試験、課題は個別にコメントを伝え、最終日に総括としてフィードバックを行う。

《授業の到達目標》

自分のキャリアプランを考え、就職活動にどのように取り組むかを学び、必要なスキルを身につけることを目標とする。

自己分析を行い、自分のキャリアプランを設計する 企業研究を行い、どのような働き方をしたいのかを明確にする 自己PR、志望動機など、相手にきちんと伝えることができるようになる 面接、グループディスカッション等で、自分の力が十分発揮できる力を身につける。

《成績評価基準》

授業に取り組む姿勢と、模擬面接実技試験及び筆記試験により、授業目標 ~ の到達度を評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 50 % レポート %
 課題 % 実技 20 %
 授業の取組 30 % その他 () %

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：就活ハンドブックを通読してくること(2時間) 復習：講義内容をまとめ直す(2時間)
2	自己分析1 自分自身を知る	予習：これまでの自分自身を振り返っておく(2時間) 復習：講義内容をまとめ直す(2時間)
3	自己分析2 成功体験、失敗体験から学んだこと	予習：前回の講義内容の振り返り(2時間) 復習：講義内容をまとめ直す(2時間)
4	エントリーシート、履歴書の書き方	予習：個別課題(2時間) 復習：講義内容をまとめ直す(2時間)
5	企業研究1	予習：前回の講義内容の振り返り(2時間) 復習：講義内容をまとめ直す(2時間)
6	企業研究2	予習：個別課題(2時間) 復習：講義内容をまとめ直す(2時間)
7	社会人マナーの基本1	予習：前回の講義内容の振り返り(2時間) 復習：講義内容をまとめ直す(2時間)
8	社会人マナーの基本2	予習：前回の講義内容の振り返り(2時間) 復習：講義内容をまとめ直す(2時間)
9	集団面接練習	予習：前回の講義内容の振り返り(2時間) 復習：講義内容をまとめ直す(2時間)
10	グループディスカッション1	予習：前回の講義内容の振り返り(2時間) 復習：講義内容をまとめ直す(2時間)
11	グループワーク	予習：前回の講義内容の振り返り(2時間) 復習：講義内容をまとめ直す(2時間)
12	グループディスカッション2	予習：前回の講義内容の振り返り(2時間) 復習：講義内容をまとめ直す(2時間)
13	個別面接練習	予習：前回の講義内容の振り返り(2時間) 復習：講義内容をまとめ直す(2時間)
14	模擬個別面接実技試験	予習：前回の講義内容の振り返り(2時間) 復習：講義内容をまとめ直す(2時間)
15	総括・筆記試験	予習：授業で学んだことを全て確認しておく(2時間以上) 復習：講義内容をまとめ直す(2時間)

《基礎科目》

科目名	キャリアサポート（公務員）				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。			

《授業の概要》

公務員の仕事内容、公務員試験の内容、作文・論文対策、学習計画、人物試験(面接・集団討論)対策についてレクチャーを受け、基礎的な知識を身につける。さらに、課題を通じて、文章力やコミュニケーション能力など実践的な力を養う。

《教科書》

なし。毎回資料を配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

期限までに提出された課題に、教員がコメントを付して返却する。

《授業の到達目標》

公務員試験(初級・中級)合格を最終目標とし、以下 ～ を到達目標とする。

試験内容を熟知し、学習計画を立て、適宜修正していくことができる。自らの志望官庁に応じて、試験情報を収集することができる。公文書等の作成のために、論理的でわかりやすい文章を書くことができる。自己分析をし、公務員にふさわしい資質や能力を面接においてアピールすることができる。

《成績評価基準》

到達目標 ～ について、どの程度達したかを課題(60%)と最終レポート(30%)によって測定する。また、積極的に発言するなど、受講態度(10%)も加味して評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート 30%
 課題 60% 実技 %
 授業の取組 10%
 その他 () %

《参考図書》

『高校卒で受けられる公務員試験早わかりハンドブック 2023年度』(実務教育出版)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	イントロダクション・公務員の職種と仕事内容	【予習】シラバスを読み、公務員について調べておく(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、課題に取り組む(2時間)
2	公務員の職種と仕事内容	【予習】公務員の仕事について調べ、自分の進路についても考える(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、現時点での希望職種を決定する(2時間)
3	1次試験(筆記試験)について	【予習】1次試験について調べる。高校の教科書を復習する(2時間) 【復習】講義で解いた問題の解答・解説を読む(2時間)
4	1次試験(筆記試験)について	【予習】1次試験について調べる。適性試験のサンプルを解いてみる(2時間) 【復習】講義で解いた問題の解答・解説を読み、復習する(2時間)
5	作文・論文対策	【予習】事前に配布される作文課題に取り組む(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、作文を修正する(2時間)
6	作文・論文対策	【予習】作文課題に取り組む(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、課題に取り組む(2時間)
7	作文・論文対策	【予習】論文課題に取り組む(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、課題に取り組む(2時間)
8	学習計画	【予習】筆記試験、作文・論文試験について振り返る(2時間) 【復習】これからの学習計画を立てる(2時間)
9	面接試験対策	【予習】面接試験について調べ、理解を深める(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、課題に取り組む(2時間)
10	面接試験対策	【予習】面接の質問事項について、自らの考えをまとめる(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、課題に取り組む(2時間)
11	面接試験対策	【予習】面接の質問に答える動画を撮影する(2時間) 【復習】他者からのコメント・アドバイスを聞き、答え方の練習をする(2時間)
12	面接試験対策	【予習】面接官として、質問事項を考える(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、課題に取り組む(2時間)
13	第1回学内公務員模試	【予習】筆記試験についてこれまでの学習を振り返る(2時間) 【復習】解答・解説を読み、復習をする(2時間)
14	集団討論対策	【予習】集団討論について調べ、理解を深める(2時間) 【復習】講義内容について振り返り、課題に取り組む(2時間)
15	まとめ	【予習】これまでの全内容を振り返る(2時間) 【復習】春休み以降の学習計画を立てる(2時間)

《基礎科目》

科目名	公務員教養 B-1 (数的推理)				
担当者氏名	岩崎 靖				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正な能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

各分野の基本事項の解説講義を聞き、典型問題を演習する。数回、確認問題が課題とされるので、期限内に提出する。

《教科書》

初級スーパー過去問ゼミ 数的推理 (実務教育出版)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

期間内に数回の演習課題と一度のミニテストを実施する。ともに、講義内で解説する。

《授業の到達目標》

履修分野(整数問題、方程式)において、合格水準の力を付ける(7割程度の問題を解けるようになる)

《成績評価基準》

制限時間の中で、基本～標準問題を7割程度正解できるかどうか。

《成績評価の方法》

筆記試験 70%
課題 30%

《参考図書》

学生の志望に応じて紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	イントロダクション・数の計算	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
2	倍数・約数	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
3	覆面算・方阵算	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
4	記数法・整数問題	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
5	数列	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
6	一次方程式・不等式	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
7	二次方程式	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
8	整数解・剰余	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
9	これまでの復習・ミニテスト	予習：1～8回講義の復習(2時間) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
10	濃度・割合・比	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
11	速度算	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
12	時計算・年齢算	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
13	仕事算	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
14	方程式の応用	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
15	まとめ	予習：これまでの講義の復習(3時間) 復習：今後の学習計画を立てる(2時間)

《基礎科目》

科目名	公務員教養 C-1 (判断推理)				
担当者氏名	岩崎 靖				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正な能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。			

《授業の概要》

判断推理の各分野の典型問題の解説により、必要な知識、手法を理解し、その後、問題演習を行う。また、課題の演習により、知識を定着させる。

《教科書》

初級スーパー過去問ゼミ 判断推理
(実務教育出版)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は講義中に解説する。

《授業の到達目標》

論理的思考、多角的思考を養い、判断推理典型問題を7割程度、解けるようになる。

《成績評価基準》

論理的思考ができるか。
 悉皆的な探索を間違いなく展開できるか。
 時間制限の中で、正解を導けるか。

《成績評価の方法》

筆記試験 70%
 課題 30%

《参考図書》

学生の志望先に応じて紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス・論理と命題	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の復習、課題演習(1時間)
2	対応関係	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
3	対応関係	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
4	順序関係	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
5	試合の勝ち負け	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
6	発言の真偽	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
7	文章条件推理のまとめ	予習：1～6講の復習(2時間) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
8	暗号の解読	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
9	集合と要素の数	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
10	操作の方法	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
11	数量の関係	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
12	経路と距離	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
13	方位と方角	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
14	位置関係	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
15	まとめ	予習：今までの復習(3時間) 復習：今後の学習計画(2時間)

《基礎科目》

科目名	パソコン基礎				
担当者氏名	川原口 久爾				
授業方法	演習	単位・必修	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。				

《授業の概要》

1. 表計算ソフト（MicrosoftExcel）の機能を把握し、基本的な操作ができるようになる。
2. 表計算ソフト（MicrosoftExcel）を使用して必要な資料等を時間内に作成できるようになる。
3. 日本情報処理検定協会主催の情報処理技能検定試験表計算の取得を目指す

《授業の到達目標》

1. 表計算ソフト（MicrosoftExcel）で作成、データ入力、計算式や関数を使用した計算、グラフの作成、データベースの利用まで、表計算ソフト（MicrosoftExcel）一連の操作を習得します。
2. 日本情報処理検定協会主催の情報処理技能検定試験表計算検定において、各自が目指す級の合格を目標に対策を行います

《成績評価の方法》

- 筆記試験30%
- 実技試験（検定）30%
- 課題20%
- 授業の取組20%

《教科書》

情報処理技能検定試験表計算2・準2級編（日本情報処理検定協会）

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

1. 検定の問題集（教科書）の問題を課題とする。
2. 課題を印刷もしくはメールにて提出をする。
3. 採点をし返却をする。
4. 返却後、フィードバックとやり直しをする。

《成績評価基準》

授業で提出した課題・実技試験（検定）・筆記試験の結果から総合的に評価します。

《参考図書》

日本情報処理検定協会ホームページ

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	Excel機能の説明・入力練習	シラバス・問題集（教科書）確認（30分） キーボードをしようしての入力練習（10分）
2	Excel機能の説明・入力練習	Excelについてインターネットで調べておく（30分） 授業内容の復習（30分）と入力練習（10分）
3	表計算の問題の作成手順と作成練習	問題集（教科書）の解き方を読んでおく（30分） 授業内容の復習（30分）
4	表計算の問題の作成手順と作成練習	問題集（教科書）の解き方を読んでおく（30分） 授業内容の復習（30分）
5	表計算の問題の作成手順と作成練習	問題集（教科書）の解き方を読んでおく（30分） 授業内容の復習（30分）
6	表計算の問題の作成手順と作成練習	問題集（教科書）の解き方を読んでおく（30分） 授業内容の復習（30分）
7	表計算の問題の作成手順と作成練習	問題集（教科書）の解き方を読んでおく（30分） 授業内容の復習（30分）
8	表計算の問題の作成手順と作成練習	問題集（教科書）の解き方を読んでおく（30分） 授業内容の復習（30分）
9	表計算の問題の作成手順と作成練習	問題集（教科書）の解き方を読んでおく（30分） 授業内容の復習（30分）
10	表計算の問題の作成手順と作成練習	問題集（教科書）の解き方を読んでおく（30分） 授業内容の復習（30分）
11	表計算の問題の作成手順と作成練習	問題集（教科書）の解き方を読んでおく（30分） 授業内容の復習（30分）
12	実技試験（検定）	検定対策を各自でする 授業内容の復習（30分）
13	Excel機能の説明	Excel課題（配布予定問題集）をする（30分） 授業内容の復習（30分）
14	Excel機能の説明	Excel課題（配布予定問題集）をする（30分） 授業内容の復習（30分）
15	筆記試験・まとめ	試験勉強を各自でする 授業内容の復習・まとめ（30分）

《基礎科目》

科目名	インターンシップ				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	実習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

夏期休暇、春期休暇の期間に、企業や官公庁、団体等の様々な職場で一定期間の就業体験を行う。受け入れ企業等から職場という貴重な経験の場の提供を受け実践的な学びを得る。

なお、インターンシップに参加するには1年生前期科目「インターンシップ実習指導」を履修していることが必須である。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実習先企業の担当者からの課題、指導に従うこと。

《授業の到達目標》

- ①インターンシップの趣旨を理解できる。
- ②ルールとマナーを守って実習先での指導を忠実に受けることができる。
- ③主体的に就業体験を遂行できる。
- ④自身の今後の進路を主体的に設計できる。

《成績評価基準》

インターンシップ受け入れ先からの報告レポートに基づいて、到達目標に沿って総合的に判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 %
 その他 () %

《参考図書》

古閑博美『インターンシップ キャリア形成に質する就業体験』(学文社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
2	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
3	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
4	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
5	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
6	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
7	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
8	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
9	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
10	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
11	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
12	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
13	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
14	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
15	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間

《基礎科目》

科目名	文章読解				
担当者氏名	(未定)				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

前期の授業内容を踏まえた上で、大学編入試験や公務員試験の要約、記述問題の演習をする。難解な文章を読んで要約や自分の意見を述べるといった問題にも対応できるように、読解演習も組み込んでいく。

《教科書》

毎回プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回の演習問題が課題となる。毎回全ての問題に解説を設ける。解答用紙は収集し、記述問題は添削する。

《授業の到達目標》

- ・大学編入試験に合格できる読解力・記述力を身に付けることができる。
- ・公務員試験に合格できる読解力・記述力を身に付けることができる。
- ・自分の興味のある学术论文を読むことができる。

《成績評価基準》

毎回の授業で出される演習問題への取り組み方が評価の大きな割合を占める。演習問題の答案における成長が評価のポイント。つまり、努力点の割合が高いということ。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 70%
 その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	大学編入・公務員試験演習(読解・記述・要約)	予習は必要なし。授業で扱ったプリントを納得できるまで理解する
2	大学編入・公務員試験演習(読解・記述・要約)	予習は必要なし。授業で扱ったプリントを納得できるまで理解する
3	大学編入・公務員試験演習(読解・記述・要約)	予習は必要なし。授業で扱ったプリントを納得できるまで理解する
4	大学編入・公務員試験演習(読解・記述・要約)	予習は必要なし。授業で扱ったプリントを納得できるまで理解する
5	大学編入・公務員試験演習(読解・記述・要約)	予習は必要なし。授業で扱ったプリントを納得できるまで理解する
6	大学編入・公務員試験演習(読解・記述・要約)	予習は必要なし。授業で扱ったプリントを納得できるまで理解する
7	大学編入・公務員試験演習(読解・記述・要約)	予習は必要なし。授業で扱ったプリントを納得できるまで理解する
8	大学編入・公務員試験演習(読解・記述・要約)	予習は必要なし。授業で扱ったプリントを納得できるまで理解する
9	大学編入・公務員試験演習(読解・記述・要約)	予習は必要なし。授業で扱ったプリントを納得できるまで理解する
10	大学編入・公務員試験演習(読解・記述・要約)	予習は必要なし。授業で扱ったプリントを納得できるまで理解する
11	大学編入・公務員試験演習(読解・記述・要約)	予習は必要なし。授業で扱ったプリントを納得できるまで理解する
12	大学編入・公務員試験演習(読解・記述・要約)	予習は必要なし。授業で扱ったプリントを納得できるまで理解する
13	大学編入・公務員試験演習(読解・記述・要約)	予習は必要なし。授業で扱ったプリントを納得できるまで理解する
14	大学編入・公務員試験演習(読解・記述・要約)	予習は必要なし。授業で扱ったプリントを納得できるまで理解する
15	大学編入・公務員試験演習(読解・記述・要約)	予習は必要なし。授業で扱ったプリントを納得できるまで理解する

《基礎科目》

科目名	キャリアサポート（アジアビジネス）I				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

留学生対象です。日本の就職活動は海外と異なり独特の採用計画と選考方法をとっています。新卒一括採用・合同説明会・エントリーシートなど、留学生にはわかりにくく日本ならではの就職活動について説明します。半年後に始まる就職活動に備えて、自己分析・業界研究・企業研究の仕方を学びます。

《授業の到達目標》

- ・日本企業の雇用システム・就活について理解し計画を立てることができる。
- ・基本的なマナーやコミュニケーションスキルを理解し、ロールプレイで実演できる。
- ・履歴書やエントリーシート、志望動機等を日本語で作成できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート 30%
 課題 30% 実技 10%
 授業の取組 40%
 その他 () %

《教科書》

進路指導部より配布される就職活動ハンドブック

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回の小レポート、履歴書、エントリーシートは添削して返却しますので、必ず修正してください。面接練習とプレゼンテーションについては授業中にフィードバックします。

《成績評価基準》

- ・日本企業の雇用システムについて自分の言葉で説明し、自分の就活スケジュールを作成できたか。
- ・履歴書完成とエントリーシートの完成と提出ができたか。
- ・マナーを理解し、各種面接に取り組むことができたか。
- ・自分の不足部分を都度反省し記述できたか。

《参考図書》

適宜指示します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	日本の雇用システムと就活スケジュール	予習：就活ハンドブック該当ページ 30分 復習：個人年間スケジュール作成 60分
2	外国人の就労について・ビザの種類	予習：就労ビザについて調べる 30分 復習：配布プリントの復習 30分
3	業界・業種・企業研究	予習：就活ハンドブック該当ページ 30分 復習：興味がある業界と企業を調べて小レポート 30分
4	職種研究	予習：就活ハンドブック該当ページ予習 30分 復習：興味がある職種を調べて小レポート 30分
5	グループディスカッション・発表	予習：ディスカッションのテーマ準備 30分 復習：発表内容不足点小レポート 30分
6	自己分析・自己PR	予習：就活ハンドブック該当ページ予習 30分 復習：自己分析・PR完成 60分
7	発表	予習：発表の準備 60分 復習：発表の不足点小レポート 30分
8	履歴書の書き方(PC・手書き)	予習：履歴書準備 60分 復習：履歴書完成 60分
9	エントリーシートの書き方(PC)	予習：エントリーシート準備 60分 復習：エントリーシート完成 60分
10	マナー 身だしなみ	予習：就活ハンドブック該当ページ予習 30分 復習：身だしなみ不足点小レポート 30分
11	マナー コミュニケーション	予習：就活ハンドブック該当ページ予習 30分 復習：気付き小レポート 30分
12	面接 個人	予習：面接準備 30分 復習：面接気付き小レポート 30分
13	面接 集団	予習：面接準備 30分 復習：面接気付き小レポート 30分
14	面接 グループディスカッション	予習：グループディスカッション準備 60分 復習：GD 気付き小レポート・30分
15	プレゼンテーション	予習：プレゼンテーション準備 120分 復習：授業まとめ 30分

《専門科目》

科目名	刑法				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 法律系科目を通じて「法律や契約の内容を理解できる力」を身につけ、公務員や社会人として現実社会において活用することができる。				

《授業の概要》

さまざまな事例に即して、刑法の言葉（専門用語）や考え方を学んでいく。事例について、まずは自分の直観を確かめ、判例や他の考え方との違いに気づき、理論的に説明する。刑法各論分野においては、個別の犯罪現象について刑事政策的観点からも検討する。

《教科書》

佐久間修・橋本正博（編）『刑法の時間』（有斐閣・2021年）

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

毎回講義内容を復習するコメントページを課す。教員が採点・コメントを付して返却する。

《授業の到達目標》

刑法総論（すべて「犯罪」に共通する内容）における、概念や判例の基本について修得することができる、事例ごとに条文や刑法学説に応じて判断し、刑事司法制度や犯罪対策も踏まえて、自らの考えを表現することができる。

《成績評価基準》

到達目標 ～ を達成できたかを、毎回のコメントページ（45%）と筆記試験（55%）で測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 55% レポート %
 課題 45% 実技 %
 授業の取組 %
 その他 () %

《参考図書》

適宜指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	殺人罪・墮胎罪・遺棄罪	【予習】教科書の該当頁(122頁～129頁)を熟読する(1時間)。 【復習】課題(コメントペーパー)に取り組む(1時間)。
2	暴行罪・傷害罪	【予習】教科書の該当頁(130頁～137頁)を熟読する(1時間)。 【復習】課題(コメントペーパー)に取り組む(1時間)。
3	逮捕・監禁罪	【予習】教科書の該当頁(138頁～145頁)を熟読する(1時間)。 【復習】課題(コメントペーパー)に取り組む(1時間)。
4	性犯罪	【予習】教科書の該当頁(146頁～151頁)を熟読する(1時間)。 【復習】課題(コメントペーパー)に取り組む(1時間)。
5	わいせつにかんする罪	【予習】教科書の該当頁(152頁～158頁)を熟読する(1時間)。 【復習】課題(コメントペーパー)に取り組む(1時間)。
6	名誉毀損罪・業務妨害罪	【予習】教科書の該当頁(159頁～166頁)を熟読する(1時間)。 【復習】課題(コメントペーパー)に取り組む(1時間)。
7	住居侵入罪	【予習】教科書の該当頁(167頁～171頁)を熟読する(1時間)。 【復習】課題(コメントペーパー)に取り組む(1時間)。
8	窃盗罪	【予習】教科書の該当頁(172頁～180頁)を熟読する(1時間)。 【復習】課題(コメントペーパー)に取り組む(1時間)。
9	強盗罪	【予習】教科書の該当頁(181頁～190頁)を熟読する(1時間)。 【復習】課題(コメントペーパー)に取り組む(1時間)。
10	詐欺罪	【予習】教科書の該当頁(191頁～198頁)を熟読する(1時間)。 【復習】課題(コメントペーパー)に取り組む(1時間)。
11	横領罪・背任罪	【予習】教科書の該当頁(199頁～206頁)を熟読する(1時間)。 【復習】課題(コメントペーパー)に取り組む(1時間)。
12	放火罪	【予習】教科書の該当頁(207頁～215頁)を熟読する(1時間)。 【復習】課題(コメントペーパー)に取り組む(1時間)。
13	偽造罪	【予習】教科書の該当頁(216頁～223頁)を熟読する(1時間)。 【復習】課題(コメントペーパー)に取り組む(1時間)。
14	公務執行妨害罪・司法に対する罪	【予習】教科書の該当頁(224頁～234頁)を熟読する(1時間)。 【復習】課題(コメントペーパー)に取り組む(1時間)。
15	まとめ	【予習】これまでに学習した内容を復習する(5時間)。 【復習】理解が不十分な部分を確認し、今後の学習計画を立てる。

《専門科目》

科目名	債権法				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP1 法律系科目を通じて「法律や契約の内容を理解できる力」を身につけ、公務員や社会人として現実社会において活用することができる。			

《授業の概要》

「契約」、「不法行為」、「債務不履行」などを中心に、取引に関係する事例の説明を受け、どこに法的な問題が存在するかを理解する。そして、民法の条文に定められたルールをどのように適用するかを中心に検討していく。毎回、講義の最後に確認テストを解き、講義内容の理解を深める。

《教科書》

小池昌三『しっかりわかる講義生中継 民法』（TAC出版・2020年）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回、講義の最後に確認テストを実施する。採点やコメントを（自己採点やグループでのコメント含む）を付して返却する。

《授業の到達目標》

あらゆるビジネス(仕事)の基本である「契約」や「不法行為」などを扱う「債権法」分野において、債権法の基本概念や判例について理解することができる。具体的な事例について、債権法のルールを適用して判断することができる。さらに、多重債務や消費者問題などに関心を持ち、自分の意見を表すことができる。

《成績評価基準》

到達目標 ～ に到達したかを期末試験(55%)および確認テスト(45%)によって測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 55% レポート %
 課題 45% 実技 %
 授業の取組 %
 その他 () %

《参考図書》

適宜指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	イントロダクション・債権法とは	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する(2時間)。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する(2時間)。
2	不法行為	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する(2時間)。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する(2時間)。
3	不法行為	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する(2時間)。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する(2時間)。
4	不法行為	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する(2時間)。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する(2時間)。
5	契約総論	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する(2時間)。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する(2時間)。
6	契約違反(債務不履行)	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する(2時間)。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する(2時間)。
7	契約違反(債務不履行)	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する(2時間)。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する(2時間)。
8	売買契約	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する(2時間)。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する(2時間)。
9	賃貸借契約	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する(2時間)。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する(2時間)。
10	債権の消滅(弁済・相殺)	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する(2時間)。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する(2時間)。
11	債権譲渡	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する(2時間)。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する(2時間)。
12	保証債務	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する(2時間)。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する(2時間)。
13	債権各論(契約)まとめ	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する(2時間)。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する(2時間)。
14	債権総論まとめ	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する(2時間)。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する(2時間)。
15	まとめ	予習：これまでの全内容を復習する(5時間)。 復習：理解の不十分な点を確認し、今後の学習計画を立てる(1時間)。

《専門科目》

科目名	行政法				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 法律系科目を通じて「法律や契約の内容を理解できる力」を身につけ、公務員や社会人として現実社会において活用することができる。 1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

行政法では、行政法の基本原則、行政の活動に主眼を置き、様々な行政の活動とその行政活動の際のルールを学んでいく。特に行政の活動は権力的なものが多く、私たちの権利・利益と衝突することもあるので、その点に着目して行政活動について学んでいく。

《教科書》

よくわかる行政法（自由国民社）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テスト等ののちに、全体に対して解説を行う。

《授業の到達目標》

- ①法律による行政の原理について理解すること。
- ②行政立法の種類と特徴について理解すること。
- ③権力的行政活動のうち行政行為の種類と特徴について理解すること
- ④行政行為の効力等について理解すること
- ⑤行政強制の種類と特徴・役割について理解すること。

《成績評価基準》

小テストとまとめのテストを基に総合的に判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート %
 課題 40% 実技 %
 授業の取組 %
 その他 () %

《参考図書》

授業中に案内する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	行政法とは何か？ 行政法の全体構造	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること(2時間)
2	行政法の基本原則	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること(2時間)
3	行政立法①	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること(2時間)
4	行政立法②	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること(2時間)
5	行政活動にはどのようなものがあるか？	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること(2時間)
6	行政行為の種類と特徴	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること(2時間)
7	行政行為の特殊な効力	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること(2時間)
8	瑕疵ある行政行為	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること(2時間)
9	無効・取消し・撤回 行政行為の付款	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること(2時間)
10	総復習	今までの全範囲を復習し、課題に取り組めるようにしておくこと(2時間)
11	行政行為の実効性の確保 手段①	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること(2時間)
12	行政行為の実効性の確保 手段②	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること(2時間)
13	判例を読む	判例の論点に沿って該当箇所を復習すること。(2時間)
14	判例を読む、総復習	判例の論点に沿って該当箇所を復習すること。試験勉強(2時間以上)
15	総復習とまとめのテスト	試験勉強をしておくこと(2時間)

《専門科目》

科目名	労働法				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 法律系科目を通じて「法律や契約の内容を理解できる力」を身につけ、公務員や社会人として現実社会において活用することができる。 1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。				

《授業の概要》

労働法は、社会的弱者といわれる労働者を守る法律といわれている。私たちの多くは労働者として長期間働くことになることを考えた場合、様々なトラブルが降りかかってくる恐れもある。どう対処したらよいか、労働法は同規定しているのかわ知っていることは私たちが働いていく上で非常に大切なことである。ここでは、労働法全般にわたって講義をしていく。

《教科書》

指定しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テスト、中間テスト等に関しては、全体に対し解説を行う。

《授業の到達目標》

各テーマの重要語句について説明できるようになる。
 現実に起こりうる問題に対し、どのように対処したらよいか考えることができるようになる。

《成績評価基準》

小テスト、中間テスト、試験等をもとに総合的に判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験60%
 小テスト、課題等40%

《参考図書》

授業中に適宜指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	労働法の全体構造	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
2	労働契約	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
3	賃金	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
4	労働時間	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
5	休日・休憩、年次有給休暇	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
6	労働契約の終了	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
7	今までの復習および小テスト	今までの講義の復習を行う(2時間)
8	就業規則	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
9	懲戒処分	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
10	労働組合はなぜ必要?	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
11	労働組合・団体交渉	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
12	争議行為・組合活動	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
13	具体的事例を検討	判例をよく読み、論点について判詞を理解すること。(2時間)
14	不当労働行為	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
15	全体の復習および試験	全体の復習および試験勉強を行う(2時間以上)

《専門科目》

科目名	マクロ経済学				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。				

《授業の概要》

この講義では、図表を用いながら、マクロ経済学の基礎的な概念を分かりやすく説明する。また講義の際に必要な「最低限用いる数学的知識」に関しては、講義内において詳しく説明を行なう。

《教科書》

茂木喜久雄(2021)『絵でわかるマクロ経済学』株式会社 講談社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

不定期的に課題を課し、採点をして返却する。

《授業の到達目標》

マクロ経済学の基本的な考え方を紹介する。マクロ経済学では、身近な新聞やニュースでも聞いたことあるような「物価、失業率、円高や円安」といった経済問題が多く登場する。また、この分野では経済が悪くなったときに対し、政府や日本銀行が行う経済政策についても学んでいく。受講生の皆さんが、経済問題について経済学の理論を通じて、理解することができるように解説していく。

《成績評価基準》

到達目標に達したかを期末試験(50%)、授業への取組(30%)および、課題提出状況(20%)によって測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 50%
課題 20%
授業の取組 30%

《参考図書》

・中谷巖 他(2021)『入門マクロ経済学 第6版』日本評論社
・西森 晃(2012)『これから経済学をまなぶ人のための数学基礎レッスン』日本経済評論社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	マクロ経済学とは何か	予習：マクロ経済学とは何かを自分でも調べておくこと(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
2	国民所得とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
3	経済の波及効果とは	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
4	マクロ経済用語：フローとストック、名目と実質	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
5	マクロ経済用語：インフレとデフレ、円高と円安	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
6	財市場とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
7	財市場における政府支出	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
8	財市場における増税や減税	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
9	インフレギャップとデフレギャップ	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
10	マクロ経済用語：利子率、割引現在価値	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
11	マクロ経済用語：貨幣需要、お金の機能、債券	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
12	貨幣供給：経済に出回るお金の総量	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
13	日本銀行による金融政策	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
14	IS-LM分析	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
15	期末試験	予習：これまでの全内容を復習する(5時間) 復習：講義内容の全体を振り返る(2時間)

《専門科目》

科目名	金融論				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。				

《授業の概要》

この講義では、図表を用いながら、金融論の基礎的な概念を分かりやすく説明する。また講義で「金利計算」等を行う際に必要となる「最低限用いる数学的知識」に関しては、講義内において説明を行なう。

《教科書》

・川西 諭(2013)『金融のエッセンス』株式会社有斐閣

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

不定期的に課題を課し、採点をして返却する。

《授業の到達目標》

授業の到達目標は以下の通りである。

1. 基礎知識を学ぶことで、金融に関連する経済現象が起こる理由を学生自身で理解・説明できる能力を養う。
2. 金融・経済関連のニュース・記事等から発信される情報を深く理解できるようになる。
3. 金融に対する興味を深め、学生自身の長期的なライフスタイル形成やキャリア形成に実用できる知識・教養を養う。

《成績評価基準》

到達目標に達したかを期末試験(50%)、授業への取組(30%)および、課題提出状況(20%)によって測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 50%
課題 20%
授業の取組 30%

《参考図書》

・奥野 一成(2021)『ビジネスエリートになるための教養としての投資』ダイヤモンド社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	金融とは何か	予習：金融論とは何かを自分でも調べておくこと(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
2	金融取引とは何か(1)：銀行との取引・債券の取引	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
3	金融取引とは何か(2)：株式の取引・保険の取引	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
4	社会を豊かにする「資本」と「投資」の役割	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
5	株式会社と投資：生産活動のために行う資金調達	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
6	金融資産への投資：個人が資本を増やすこと	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
7	投資における収益と収益率：大切なのはどちらか	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
8	投資の意思決定：収益率を使った高度な投資判断	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
9	間接金融と直接金融とは	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
10	「金融システム」が必要な理由	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
11	「銀行システム」の役割：間接金融の役割	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
12	「市場システム」の役割：直接金融の役割	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
13	私たちの生活と投資(1)：世界と日本の金融資産	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
14	私たちの生活と投資(2)：投資と投機の違いとは	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
15	期末試験	予習：これまでの全内容を復習する(5時間) 復習：講義内容の全体を振り返る(2時間)

《専門科目》

科目名	ファイナンシャルプランナー B				
担当者氏名	新垣 のぞみ				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

ファイナンシャルプランナーとして、金融関連の授業・資格講座・企業研修等や個人の相談業務に携わっている教員が、授業に関連する様々な具体例の共有や学習ポイントを交え講義演習を行う。前後期1年間を通して、ライフプラン・保険・資産運用・不動産・税金・相続の6分野について基礎知識を学ぶ。

授業内容は進行の度合い等により変更する場合もある
 指定教科書(必ず本年度のもの)と電卓を持参すること

《授業の到達目標》

FP(ファイナンシャルプランナー)資格を学ぶことは、就職活動でのアピールポイント、公務員試験などの勉強の素地作りになる。また、社会に出た後のスキルアップ(入社後FP資格取得を求められることもある)、そして、日々の暮らしに役立たせることができる。人生をよりよく暮らすための知識付けを目的とし、国家資格 FP 技能士を取得する際にスムーズに勉強を始めるための素地作りを目標とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 50%
 レポート・課題 10%
 授業の取組 40%
 その他 () %

《教科書》

うかる! FP3級 速攻テキスト 2022 2023年版(予定)(例年5月下旬発刊のため授業内で指定)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義内で全体フィードバックを行う

《成績評価基準》

受講態度・レポートなど課題提出等の取り組み姿勢を中心に、ミニテスト・まとめの筆記試験を評価項目とする

《参考図書》

うかる!FP3級速攻問題集2022 2023年版(予定・5月下旬発刊のため授業内指定)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ファイナンシャルプランナーA 振り返り	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
2	タックスプランニング	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
3	タックスプランニング	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
4	タックスプランニング	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
5	ミニテスト	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
6	不動産	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
7	不動産	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
8	不動産	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
9	ミニテスト	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
10	相続と事業承継	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
11	相続と事業承継	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
12	相続と事業承継	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
13	ミニテスト	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
14	ファイナンシャルプランナーB 振り返り	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
15	まとめ	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること

《専門科目》

科目名	簿記				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。				

《授業の概要》

この授業では、小規模の株式会社の簿記を学ぶ（日商簿記検定3級レベル）。
毎回必ず電卓またはそろばんを持参すること。

《教科書》

鶴見正史編著『複式簿記概説』五紘舎。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回授業の最後に小テストを行う。解答終了後に解答解説を配布し、解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

小規模の株式会社の簿記の技術の習得を目標とする。
企業活動において、重要な仕訳ができるようになる。
貸借対照表や損益計算書が作成できるようになる。
企業の決算公告を読むことができる。

《成績評価基準》

毎回授業の最後に小テストを行い、その回の内容の理解度を問う（28％）。期末の筆記試験では到達目標 ~ の習得度を問う（72％）。

《成績評価の方法》

筆記試験 72% レポート %
課題 % 実技 %
授業の取組 %
その他（小テスト） 28%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	簿記の基礎	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
2	現金と預金の処理	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
3	商品勘定の処理	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
4	貸倒れと貸倒引当金	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
5	その他の債権債務	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
6	手形の取引	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
7	有形固定資産の処理	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
8	税金の処理・個人企業の資本	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
9	試算表の作成（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
10	試算表の作成（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
11	決算整理	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
12	精算表の作成	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
13	財務諸表の作成	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
14	訂正仕訳	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
15	総括	予習：これまでの内容を復習しておくこと（2時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（2時間）。

《専門科目》

科目名	貿易概論				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。				

《授業の概要》

貿易取引の流れについて専門用語に関する説明を行なった後、陸航空における輸送のしくみ等に関する知識について説明を行なう。

《教科書》

指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

到達目標に達したかを期末試験(50%)、授業への取組(30%)および、課題提出状況(20%)によって測定する。

《授業の到達目標》

本講義では、貿易とはどのような取引なのか、取引実務の手順はどのように行われるのか、専門用語を用いて入門的な講義を行なう。

《成績評価基準》

不定期的に課題を課し、採点をして返却する。

《成績評価の方法》

筆記試験 50%
課題 20%
授業の取組 30%

《参考図書》

黒岩章(2021)『はじめての人の貿易入門塾』株式会社かんき出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	貿易とは何か	予習：経営学とは何かを自分でも調べておくこと(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
2	貿易取引の形態	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
3	モノ・カネ・カミ：貿易取引の流れ	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
4	貿易取引に関わる仕事とは	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
5	貿易取引における「売買契約」につながる流れ	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
6	インコタームズ：貿易取引における国際的ルール	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
7	品質条件と数量条件	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
8	海上輸送の特徴とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
9	海上輸送の船：コンテナ船と在来型貨物船	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
10	航空輸送の特徴とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
11	WTO：世界の貿易管理体制について	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
12	税関の役割について	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
13	「貿易取引の流れ」に関する復習	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
14	「貿易施設と輸送手段」について	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
15	期末試験	予習：これまでの全内容を復習する(5時間) 復習：講義内容の全体を振り返る(2時間)

《専門科目》

科目名	金融資産運用				
担当者氏名	守田 弘美				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。				

《授業の概要》

20年以上金融や資産運用についてセミナーやコンサルティングを実施してきた経験から、生活していく上で本当に必要な金融知識を身につけるための実践的授業を行います。各金融商品の商品性を資料教材やネットを使用して学習するほか、アセットアロケーション（資産配分）の考え方や、確定拠出年金、NISAなどの制度についても学習し、金融リテラシー（知識・判断力）の向上を目指します。

《授業の到達目標》

各種金融商品の基本的な商品性を理解し、説明できる。
 金利の計算等、各種金融に関する計算ができる。
 金融経済情勢やライフプランに合わせて金融商品の選択ができる。
 NISA、確定拠出年金の概要を理解し説明できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート 0%
 課題 20% 実技 0%
 授業の取組 40%
 その他 () 0%

《教科書》

使用しない。冊子とプリントを配布する。毎回電卓を持参すること。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は解答をチェックして返却。
 解答解説は授業中に実施する。

《成績評価基準》

・到達目標に挙げた各項目の習得度を最終日の試験と宿題で評価する。(テスト40%、宿題20%)
 ・授業ではインターネットを使用して課題を調べたり、各種計算等のワークを実施するので、取り組む姿勢や発表の積極性等を評価の基準とする。(授業の取組40%)

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	金融とは何か？ 資産運用の基本的な考え方	予習：なし 復習：配布資料と冊子を熟読すること。(2時間)
2	預貯金と金利の計算 単利と複利	予習：冊子の該当箇所を読む(1時間) 復習：金利の計算がスムーズにできるように復習すること。(3時間)
3	預貯金と金利の計算 金利と景気の関係	予習：配布資料や冊子の該当箇所を読む(1時間) 復習：授業の復習と指定する計算課題をすること。(宿題)(3時間)
4	為替リスクと外貨建て商品 為替とは	予習：冊子の該当箇所を読む(1時間) 復習：外国為替取引の基本的仕組みと計算の復習をすること。(3時間)
5	為替リスクと外貨建て商品 外貨建ての計算	予習：配布資料や冊子の該当箇所を読む(1時間) 復習：授業の復習と為替に関する計算の課題をすること。(宿題)(3時間)
6	債券 基本的仕組みと債券の種類	予習：冊子の該当箇所を読む(1時間) 復習：授業の復習とネットを活用し、指定する課題について調べること。(3時間)
7	債券 債券の利回り計算	予習：配布資料や冊子の該当箇所を読む(1時間) 復習：債券の利回り計算がスムーズにできるように復習すること。(3時間)
8	株式 基本的仕組み	予習：冊子の該当箇所を読む(1時間) 復習：授業の復習とネットを活用し指定課題について調べること。(宿題)(3時間)
9	株式 投資指標の計算と投資ゲーム銘柄選定	予習：配布資料を読む。銘柄選定(2時間) 復習：株式の投資指標の計算について復習すること。株価チェック。(3時間)
10	投資信託基本的仕組み	予習：冊子の該当箇所を読む(1時間) 復習：授業の復習とネットを活用し指定課題について調べること。(宿題)(3時間)
11	NISAと確定拠出年金 NISAの概要と活用法	予習：冊子の該当箇所を読む(1時間) 復習：授業の復習とインターネットで専用サイトを見て理解を深める。(3時間)
12	NISAと確定拠出年金 確定拠出年金の概要	予習：冊子の該当箇所を読む(1時間) 復習：授業の復習とインターネットで専用サイトを見て理解を深める。(3時間)
13	アセットアロケーションとポートフォリオ	予習：これまで学習した金融商品の特徴を復習しておくこと(2時間) 復習：授業内容を復習すること。(2時間)
14	金利や投資指標等に関する計算の復習	予習：各種計算の練習(2時間) 復習：授業内容および各種計算を復習すること(3時間)
15	総括および試験	予習：試験に向けての勉強(4時間) 復習：試験の解答をチェックし、苦手なポイントを復習すること。

《専門科目》

科目名	マーケティング論				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。				

《授業の概要》

マーケティングに関する基礎的な専門知識について学習するとともに、実践的で有用なマーケティング的発想を習得することを目的とする。

《教科書》

指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

到達目標に達したかを期末試験(50%)、授業への取組(30%)および、課題提出状況(20%)によって測定する。

《授業の到達目標》

マーケティングの基礎理論と専門知識について理解した上で、実践的に用いることができる情報収集力と発想力を身につけることを到達目標とする。

《成績評価基準》

第3週目、第5週目、第7週目にグループディスカッションを実施し、その積極的参加とディスカッションの貢献度に応じて成績評価を行う。

《成績評価の方法》

筆記試験 40%
グループディスカッション 30%
授業の取組 30%

《参考図書》

宮崎哲也(2016)『はじめての「マーケティング」1年生』明日香出版社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	マーケティングとは何か	予習: 経営学とは何かを自分でも調べておくこと(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
2	4Pと4C: マーケティングミックス	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
3	グループディスカッション(1): 4Pと4Cの活用	予習: 第2週目の講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
4	環境分析: 企業を取り巻く外的環境を理解する	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
5	グループディスカッション(2): 環境分析の活用	予習: 第4週目の講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
6	商品の宣伝: プロモーション活動の実用例	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
7	グループディスカッション(3): 宣伝方法を考える	予習: 第6週目の講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
8	商品の低価格追求によるマーケティングの失敗	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
9	コモディティ化: 価値のない商品の特徴とは	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
10	イノベーションのジレンマ	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
11	ソーシャルメディアによるプロモーション戦略	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
12	PPM分析: 将来性のある商品・サービスとは	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
13	行動経済学入門: 合理的でない顧客の行動とは	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
14	CSRマーケティング: ビジネスで社会を変える	予習: 事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習: 講義内容の見直し(2時間)
15	期末試験	予習: これまでの全内容を復習する(5時間) 復習: 講義内容の全体を振り返る(2時間)

《専門科目》

科目名	FP3級試験対策講座				
担当者氏名	新垣 のぞみ				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

ファイナンシャルプランナーとして、金融関連の授業・資格講座・企業研修等や個人の相談業務に携わっている教員が、授業に関連する様々な具体例の共有や学習ポイントを交え講義演習を行う。

国家資格FP技能士3級の合格を目指す。

授業内容は進行の度合い等により変更する場合もある
 指定教科書(必ず本年度のもの)と電卓を持参すること

《授業の到達目標》

FP(ファイナンシャルプランナー)資格を学ぶことは、就職活動でのアピールポイント、公務員試験などの勉強の素地作りになる。また、社会に出た後のスキルアップ(入社後FP資格取得を求められることもある)、そして、日々の暮らしに役立たせることができる。

年3回実施の国家資格FP技能士3級合格、その後の2級へのステップアップの素地作りを目標とする。

《成績評価の方法》

授業の取組 100%
 その他 () %

《教科書》

うかる! FP3級 速攻テキスト 2022 2023年版(予定)(例年5月下旬発刊のため授業内で指定)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義内で全体フィードバックを行う

《成績評価基準》

受講態度等の取り組み姿勢を評価項目とする

《参考図書》

うかる!FP3級速攻問題集2022 2023年版(予定・5月下旬発刊のため授業内指定)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ライフプランニングと資金計画	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
2	ライフプランニングと資金計画	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
3	リスク管理	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
4	リスク管理	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
5	金融資産運用	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
6	金融資産運用	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
7	タックスプランニング	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
8	タックスプランニング	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
9	不動産	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
10	不動産	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
11	相続と事業承継	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
12	相続と事業承継	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
13	実技対策	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
14	実技対策	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
15	実技対策	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること

《専門科目》

科目名	検定読解				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

N2に合格できる読解力を身に付けるために日常的な場面で使われる日本語を理解できるようにする。短文・中文の内容理解、統合理解、長文の主張理解、情報検索の読解演習をする。

《教科書》

N2読解スピードマスター

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

翌週の授業で文章中の語彙や文法を小テストで確認し、フィードバックをする。

《授業の到達目標》

- ・幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、易しい評論など、論旨が分かりやすい文章を読んで文章の内容を理解することができる。
- ・一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや言いたいことを理解することができる。
- ・N2に合格する。

《成績評価基準》

- ・期末テストで6割以上、毎回の小テストでは8割以上を求める。
- ・小テストを受けていない場合は減点対象とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 50%
 その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	内容理解(短文)150字~200字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
2	内容理解(短文)150字~200字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
3	内容理解(短文)150字~200字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
4	内容理解(中文)500字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
5	内容理解(中文)500字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
6	内容理解(中文)500字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
7	統合理解、600字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
8	統合理解、600字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
9	統合理解、600字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
10	主張理解、900字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
11	主張理解、900字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
12	主張理解、900字ぐらい	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
13	情報検索	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
14	情報検索	授業のプリントの復習。指定された語彙や文法、例文を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
15	演習問題	授業のプリントの復習。

《専門科目》

科目名	検定文法				
担当者氏名	入江 千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

N2 レベルの日本語文章を理解するための文法を学ぶ。例文を読んで、意味と接続の関係を理解しながら文法を学んでいく。その上で、機能語をマスターし、文の形や構造をしっかりと把握する練習を積む。

《教科書》

耳から覚える文法トレーニングN2

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

翌週の授業で文章中の語彙や文法を小テストで確認し、フィードバックをする。

《授業の到達目標》

- ・文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができる。
- ・文章の流れに合った文かどうかを判断することができる。
- ・N2 に合格する。

《成績評価基準》

- ・期末テストで6割以上、毎回の小テストでは8割以上を求める。
- ・小テストを受けていない場合は減点対象とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 50%
 その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
2	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
3	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
4	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
5	文の文法 文法形式の判断	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
6	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
7	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
8	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
9	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
10	文の文法 文の組み立て	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
11	文章の文法	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
12	文章の文法	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
13	文章の文法	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
14	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
15	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を理解し、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。

《専門科目》

科目名	検定文字語彙				
担当者氏名	志田 華奈子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

日常的な場面で使われる日本語を理解するための語彙を学ぶ。特に気持ちや様子を表す形容詞や副詞にポイントを置いて学ぶ。言語知識だけでなく、N2の読解や聴解問題に役に立つ語彙を身に付けるために演習を積む。

《教科書》

N2新完全マスター文字語彙

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回小テストを実施し、フィードバックする。

《授業の到達目標》

・日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができるようになる。

・N2に合格する。

《成績評価基準》

・期末テストで6割以上、毎回の小テストでは8割以上を求める。
・小テストを受けていない場合は減点対象とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %

課題 % 実技 %

授業の取組 50%

その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	動詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
2	動詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
3	形容詞・名詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
4	形容詞・名詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
5	形容詞・名詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
6	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
7	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
8	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
9	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
10	副詞	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
11	慣用表現	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
12	慣用表現	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
13	慣用表現	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
14	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。
15	演習問題	授業の復習。授業で学習したテキストの範囲を覚え、次回の授業で実施される小テストで最低8割の点数がとれるようにする。

《専門科目》

科目名	ビジネスコミュニケーション				
担当者氏名	井上 しづ恵、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

時事用語やビジネス用語をきちんと理解し、常識を身に付ける。表やグラフ、統計を理解し、問題を提起できるようにする。新聞記事などを読んで、課題を見つけ、解決につながる糸口を提起できるようにする。

《教科書》

ビジネス能力検定ジョブパス2級

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回演習問題を解き、授業内で解説する

《授業の到達目標》

- ・ インターンシップ前におさえておきたいビジネス知識やビジネスマナーを理解することができる。
- ・ 仕事に役立つ論理力を養うことができる。
- ・ 時事用語やビジネス用語を理解することができる。
- ・ 表やグラフを見て、問題発見や分析ができる。
- ・ ビジネス能力検定2級に合格する。

《成績評価基準》

授業での演習を通して、ビジネス能力検定2級レベルの知識、思考力、分析力を身につけることができたかを評価する

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 60%
 その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	キャリアと仕事へのアプローチ	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
2	会社活動の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
3	話し方と聞き方のポイント	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
4	接客と営業の進め方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
5	不満を信頼に変えるクレーム対応	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
6	会議への出席とプレゼンテーション	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
7	チームワークと人のネットワーク	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
8	仕事の進め方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
9	ビジネス文書の基本	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
10	統計・データの読み方、まとめ方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
11	情報収集とメディアの活用	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
12	会社数字の読み方	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
13	ビジネスと法律・税金知識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
14	産業と経済の基礎知識	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する
15	知識・読解・分析などの総括	予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する

《専門科目》

科目名	ビジネスプレゼンテーション				
担当者氏名	志田 華奈子、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

プレゼンテーションは、授業での口頭発表、就活、仕事上の企画や報告など様々な場面で必要とされるスキルである。またプレゼンテーションには、発表のテクニックだけではなく、論理的思考および文章力も必要になる。この授業ではプレゼンテーションとは何かを理解し、伝えたいことを論理的に考察し、適切な音声・スライド・文章表現などを身につけて発表できるスキルを身につける。

《授業の到達目標》

- ・目的に応じて効果的な文章表現を作成し、プレゼンテーションを設計することができる。
- ・聴き手を意識したわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができる。
- ・文章作成や発表を通して、適切な音声やスピードで人前で話すスキルや批評力を身につける。

《成績評価の方法》

授業内発表 40%
課題 30%
授業の取組 30%

《教科書》

適宜プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

- ・目的に応じて効果的な文章表現を作成し、プレゼンテーションを設計することができたか。
- ・聴き手を意識したわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができたか。
- ・文章作成や発表を通して、適切な音声やスピードで人前で話すスキルや批評力を身につけることができたか。

《参考図書》

- 『1分で話せ』伊藤羊一（SBクリエイティブ）
- 『大学生のための日本語表現トレーニング』橋本修（三省堂）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
2	プレゼンテーションの基本	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
3	プレゼンテーションの基本 (PREP法)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
4	プレゼンテーションの基本 (根拠とは)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
5	レポートを書く (テーマの動機付け)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
6	レポートを書く (段落構成の作り方)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
7	レポートを書く (文章作成)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
8	実習 (プレゼンテーション作成)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
9	実習 (中間発表)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
10	相手に伝わる話し方	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
11	プレゼンテーションのテクニック	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
12	プレゼンテーションのテクニック	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
13	プレゼンテーションのテクニック	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
14	授業内発表	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
15	発表評価と振り返り	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)

《専門科目》

科目名	実践的プログラミング演習				
担当者氏名	柿山 達哉、常岡 直樹				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

実践的なマクロを自らアイデアを出して設計する。
上記設計の基づいてExcelシートを作成する。
作成したExcelシートのプレゼンテーション資料を作成する。
自分の作成したExcelシートのプレゼンテーションを行う。

《教科書》

今すぐ使えるかんたんエクセル2019
井上香緒里著
技術評論社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

個人ごとに課題に対する評価レポートを提示し、説明する。

《授業の到達目標》

自分で実用性のあるマクロ機能を使ったExcelシートを設計し、完成させることができる。

《成績評価基準》

- ・授業に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・出席率、予習、復習を重視します。

《成績評価の方法》

課題 60%
授業の取組 40%

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	課題マクロ作成 課題の内容説明	予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
2	課題マクロ作成 アルゴリズム解説	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
3	課題マクロ作成 表とグラフのデザイン	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
4	課題マクロ作成 表とグラフのデザイン	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
5	課題マクロ作成 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
6	課題マクロ作成 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
7	課題マクロ作成 個別指導	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
8	課題マクロ作成 作成課題の提出	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
9	自由課題マクロ作成 自由課題の決定	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
10	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
11	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
12	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
13	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
14	自由課題マクロ作成 コーディング実習	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
15	自由課題マクロ作成 成果発表	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)